

運用報告書（全体版）

日本金融ハイブリッド証券オープン （年1回決算型）

円ヘッジありコース/
円ヘッジなしコース

〈愛称〉ジェイブリッド年1

第8期（決算日 2024年6月14日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）	
信託期間	無期限	
運用方針	①日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。 ②「円ヘッジありコース」と「円ヘッジなしコース」があります。	
主要投資対象	日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース 日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド受益証券
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券
主な組入制限	日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース 日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。	

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース」は、このたび第8期の決算を行いましたので、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル



<https://www.sompo-am.co.jp/>

お問い合わせ先



リテール営業部 0120-69-5432

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）

円ヘッジありコース

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	騰 落 中 率		
	円	円	円	%	%	百万円
4期(2020年6月15日)	10,978		0	6.3	95.1	841
5期(2021年6月14日)	11,339		0	3.3	96.6	722
6期(2022年6月14日)	9,994		0	△11.9	97.6	576
7期(2023年6月14日)	9,647		0	△3.5	94.6	694
8期(2024年6月14日)	9,593		0	△0.6	97.1	678

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万口当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落	率		
	円		%		%
(期 首) 2023年6月14日	9,647		—		94.6
6月末	9,612		△0.4		95.0
7月末	9,558		△0.9		93.9
8月末	9,456		△2.0		93.4
9月末	9,256		△4.1		95.9
10月末	9,071		△6.0		96.1
11月末	9,383		△2.7		95.0
12月末	9,605		△0.4		91.6
2024年1月末	9,600		△0.5		95.4
2月末	9,553		△1.0		97.2
3月末	9,603		△0.5		97.9
4月末	9,388		△2.7		98.0
5月末	9,474		△1.8		97.3
(期 末) 2024年6月14日	9,593		△0.6		97.1

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

円ヘッジなしコース

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 組 入 比	券 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落			
	円			円		%	百万円
4期(2020年6月15日)	12,544			0		7.8	330
5期(2021年6月14日)	13,330			0		6.3	302
6期(2022年6月14日)	14,333			0		7.5	442
7期(2023年6月14日)	15,128			0		5.5	447
8期(2024年6月14日)	17,816			0		17.8	398

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額及び分配金は1万口当たり（以下同じ）。

(注3) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注4) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2023年6月14日	円		%		%
		15,128	—		94.1
6月末		15,612	3.2		94.1
7月末		15,191	0.4		94.5
8月末		15,631	3.3		92.6
9月末		15,711	3.9		95.5
10月末		15,470	2.3		95.7
11月末		15,838	4.7		97.0
12月末		15,763	4.2		94.9
2024年1月末		16,428	8.6		95.9
2月末		16,744	10.7		96.4
3月末		16,985	12.3		97.4
4月末		17,283	14.2		96.9
5月末		17,500	15.7		96.3
(期 末) 2024年6月14日		17,816	17.8		96.6

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

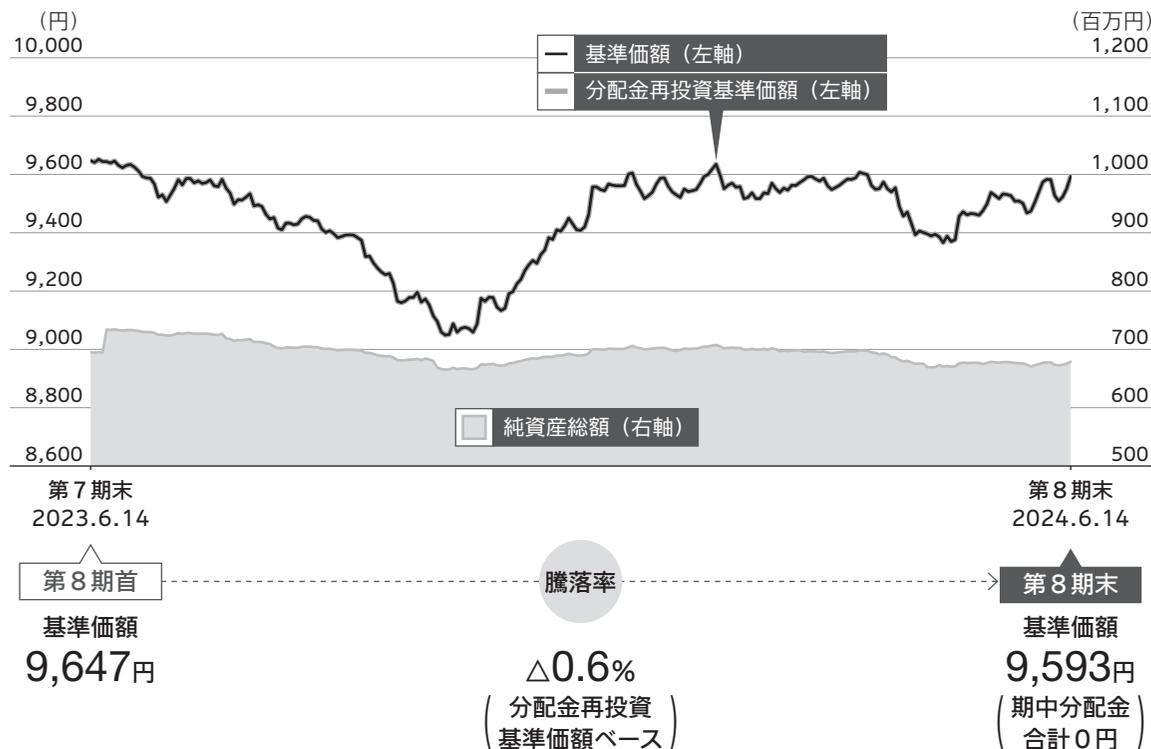
(注2) 債券組入比率はマザーファンドへの投資割合に応じて算出された当ファンドベースの組入比率。

(注3) 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに合った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

運用経過

● 基準価額の推移

円ヘッジありコース



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジありコース

マザーファンドが保有する日本金融ハイブリッド証券の所有期間利回りがプラスとなった一方、為替ヘッジコストがマイナスに影響し、当ファンドの基準価額は下落しました。なお、当ファンドは為替ヘッジを行っているため為替変動による影響は限定的でした。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

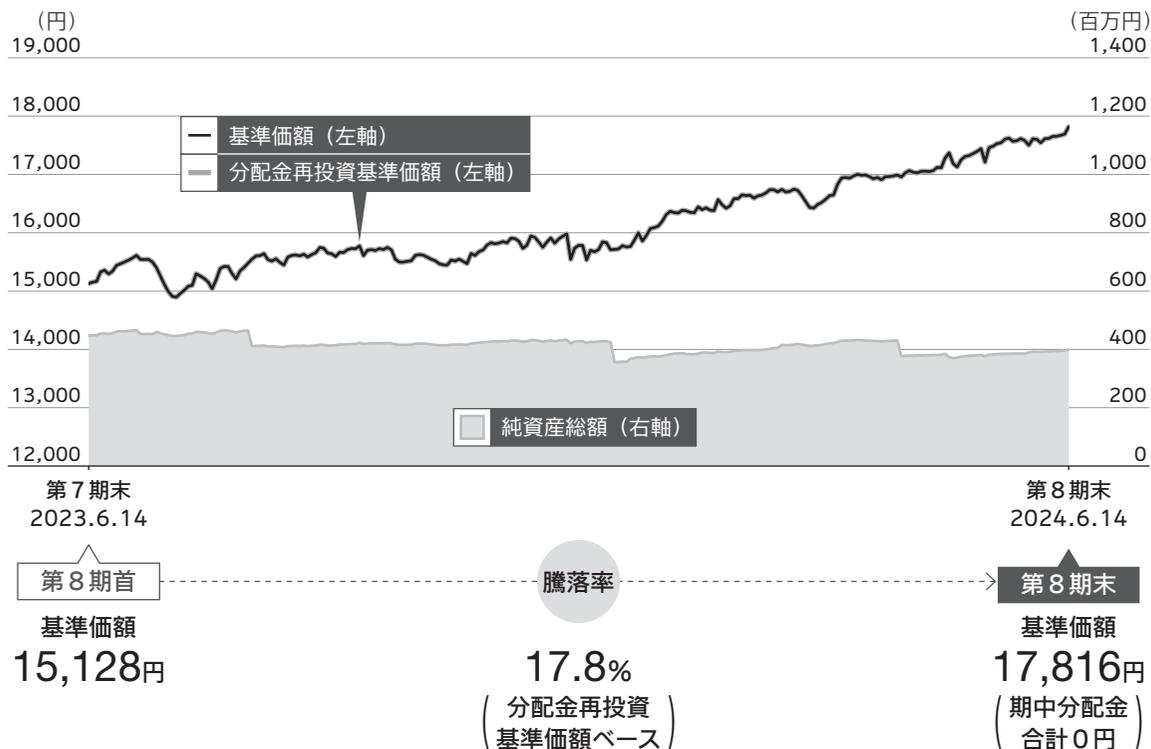
期中の騰落率は+18.7%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、基準となる米国債利回りが上昇（価格は下落）した一方、対国債スプレッドが縮小したことから、利回りは低下（価格は上昇）し、所有期間利回りはプラスとなりました。為替が米ドル高円安となったことも加わり、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

● 円ヘッジなしコース



- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年6月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

円ヘッジなしコース

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの基準価額は上昇しました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は+18.7%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、基準となる米国債利回りが上昇（価格は下落）した一方、対国債スプレッドが縮小したことから、利回りは低下（価格は上昇）し、所有期間利回りはプラスとなりました。為替が米ドル高円安となったことも加わり、基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

FRB（米連邦準備理事会）の金融引き締め姿勢を背景に、2023年10月にかけて利回りは上昇したものの、利上げの打ち止めや、その後の利下げが意識される中で、12月にかけて利回りは低下しました。その後は、米国の堅調な経済指標やインフレ率の高止まりなどを受けて、利回りは2024年4月にかけて再度上昇しました。期末にかけては、5月の低調な雇用統計を受けて利下げ観測が再燃する中、利回りは低下したものの、前期末対比では利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

ECB（欧州中央銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2023年10月にかけて利回りは上昇しました。その後は、米国金利の動きの影響などを受けて、利回りは12月にかけて低下後、期末にかけて再度上昇しました。結果、利回りは前期末対比では小幅に上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは低下しました。

2023年10月にかけては、米欧金利の上昇が利回りの上昇圧力となった一方、インフレ指標が市場予想を下回ったことなどから、利回りは概ね横ばいで推移しました。その後は、米国金利の動きの影響などを受けて、利回りは12月にかけて低下後、期末にかけて再度上昇したものの、前期末対比では利回りは低下しました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは、2023年11月にかけて概ね横ばいで推移しました。12月以降は、米国の利上げの打ち止めや、その後の利下げが意識される中で、株式市場が堅調に推移するなど、市場のリスクセンチメントが改善し、スプレッドは縮小基調で推移しました。

○為替市場

米ドル円は米ドル高円安となりました。

2023年10月にかけては、米国の金融引き締めを背景に日米金利差が拡大する中、米ドル円は上昇しました。その後12月にかけては、米国の利上げ打ち止めや利下げ開始時期が意識される中、米国金利の低下により日米金利差が縮小し、米ドル円は下落しました。期末にかけては、米国の堅調な経済指標やインフレ率の高止まりなどを受けて米国金利主導で日米金利差が再度拡大し、米ドル円は上昇しました。結果、米ドル円は米ドル高円安となりました。

為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

● 当該投資信託のポートフォリオ

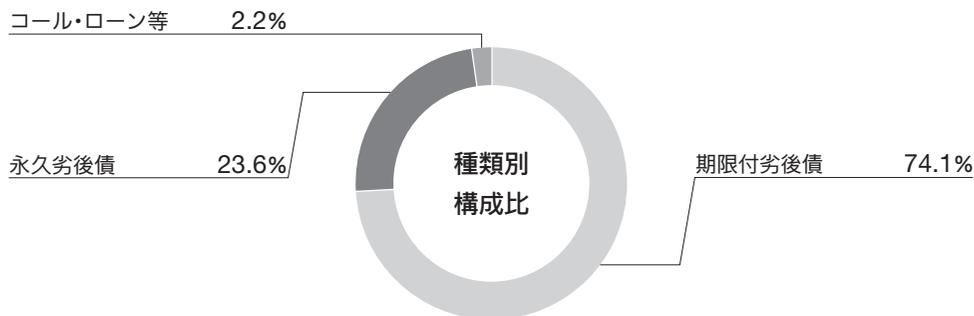
☼ 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

両コースとも、期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。円ヘッジありコースでは、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジを行っています。

👤 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

第8期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注1. 比率は、第8期末における純資産に対する割合。

注2. 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

☼ 円ヘッジありコース／円ヘッジなしコース

各ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

円ヘッジありコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第8期 2023.6.15~2024.6.14
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,582

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

円ヘッジなしコース

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第8期 2023.6.15~2024.6.14
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,815

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

円ヘッジありコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。また、為替変動リスクを回避する目的から為替のフルヘッジについても継続します。

円ヘッジなしコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組み入れ銘柄の入れ替えも検討します。

● 1万口当たりの費用明細

 円ヘッジありコース

項目	第8期 2023.6.15～2024.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	87円	0.924%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,463円です。
（投信会社）	(42)	(0.440)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(42)	(0.440)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(4)	(0.044)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	3	0.032	(b)その他費用＝ $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	(1)	(0.014)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	(1)	(0.014)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.005)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	90	0.956	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

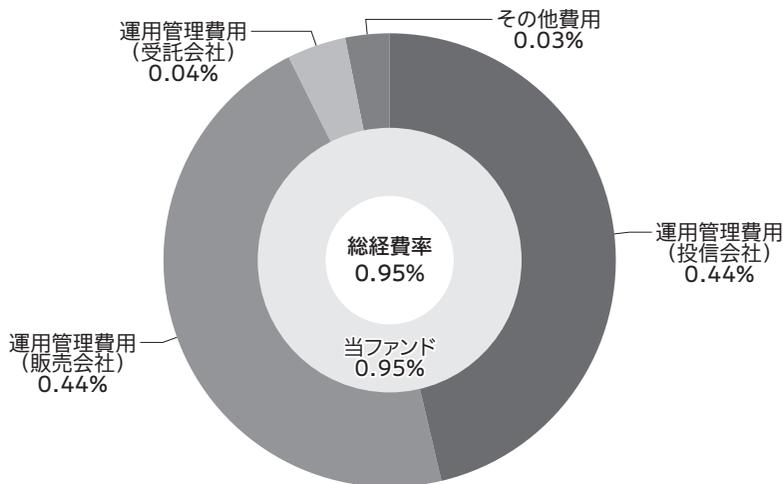
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

 円ヘッジなしコース

項目	第8期 2023.6.15～2024.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	149円	0.924%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率（年率） × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">期中の平均基準価額は16,179円です。</div>
（投信会社）	（ 71）	（0.440）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（ 71）	（0.440）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 7）	（0.044）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	5	0.032	(b) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
（保管費用）	（ 2）	（0.014）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 2）	（0.014）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 1）	（0.004）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	154	0.956	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

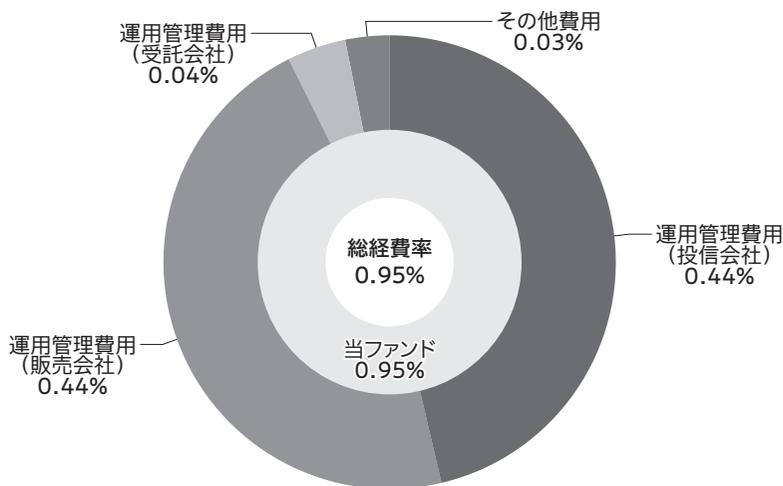
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.95%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

円ヘッジありコース

○売買及び取引の状況

(2023年6月15日～2024年6月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 23,379	千円 47,250	千口 85,572	千円 182,090

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月15日～2024年6月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年6月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 348,695	千口 286,502	千円 674,168

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2024年6月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千円 674,168	% 97.0
コール・ローン等、その他	20,676	3.0
投資信託財産総額	694,844	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(7,668,308千円)の投資信託財産総額(7,727,294千円)に対する比率は、99.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.31円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年6月14日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,328,875,407
コール・ローン等	20,676,327
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	674,168,279
未収入金	634,030,796
未収利息	5
(B) 負債	650,293,754
未払金	647,032,143
未払解約金	22,842
未払信託報酬	3,191,911
その他未払費用	46,858
(C) 純資産総額(A-B)	678,581,653
元本	707,335,334
次期繰越損益金	△ 28,753,681
(D) 受益権総口数	707,335,334口
1万口当たり基準価額(C/D)	9.593円

(注1) 信託財産に係る期首元本額720,368,836円、期中追加設定元本額60,788,579円、期中一部解約元本額73,822,081円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額0.9593円

(注3) 期末における元本の欠損金額 28,753,681円

○損益の状況（2023年6月15日～2024年6月14日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 4,705
受取利息	488
支払利息	△ 5,193
(B) 有価証券売買損益	3,016,655
売買益	144,391,648
売買損	△141,374,993
(C) 信託報酬等	△ 6,543,232
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 3,531,282
(E) 前期繰越損益金	△ 27,062,422
(F) 追加信託差損益金	1,840,023
(配当等相当額)	(79,767,259)
(売買損益相当額)	(△ 77,927,236)
(G) 計(D+E+F)	△ 28,753,681
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 28,753,681
追加信託差損益金	1,840,023
(配当等相当額)	(79,861,474)
(売買損益相当額)	(△ 78,021,451)
分配準備積立金	102,822,788
繰越損益金	△133,416,492

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2023年6月15日～2024年6月14日）は以下の通りです。

項 目	2023年6月15日～ 2024年6月14日
a. 配当等収益(費用控除後)	18,724,534円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	0円
c. 信託約款に規定する収益調整金	79,861,474円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	84,098,254円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	182,684,262円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,582円
g. 分配金	0円

円ヘッジなしコース

○売買及び取引の状況

(2023年6月15日～2024年6月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 44,428	千円 94,880	千口 100,292	千円 211,830

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 金額は受渡代金。

○利害関係人との取引状況等

(2023年6月15日～2024年6月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年6月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千口 223,295	千口 167,430	千円 393,981

(注1) 単位未満は切捨て。

(注2) 当ファンドは、当期末において、直接投資をする株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2024年6月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	千円 393,981	% 98.3
コール・ローン等、その他	6,684	1.7
投資信託財産総額	400,665	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 日本金融ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(7,668,308千円)の投資信託財産総額(7,727,294千円)に対する比率は、99.2%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=157.31円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2024年6月14日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	400,665,640
コール・ローン等	6,683,772
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド(評価額)	393,981,867
未収利息	1
(B) 負債	1,865,283
未払解約金	12,719
未払信託報酬	1,825,772
その他未払費用	26,792
(C) 純資産総額(A-B)	398,800,357
元本	223,849,648
次期繰越損益金	174,950,709
(D) 受益権総口数	223,849,648口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,816円

(注1) 信託財産に係る期首元本額295,760,112円、期中追加設定元本額75,452,894円、期中一部解約元本額147,363,358円

(注2) 期末における1口当たりの純資産総額1.7816円

○損益の状況（2023年6月15日～2024年6月14日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 731
受取利息	112
支払利息	△ 843
(B) 有価証券売買損益	56,503,951
売買益	67,791,028
売買損	△ 11,287,077
(C) 信託報酬等	△ 3,890,588
(D) 当期損益金(A+B+C)	52,612,632
(E) 前期繰越損益金	33,083,618
(F) 追加信託差損益金	89,254,459
(配当等相当額)	(60,371,200)
(売買損益相当額)	(28,883,259)
(G) 計(D+E+F)	174,950,709
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	174,950,709
追加信託差損益金	89,254,459
(配当等相当額)	(60,561,330)
(売買損益相当額)	(28,693,129)
分配準備積立金	85,696,250

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 信託報酬等には、消費税相当額を含めて表示しております。

(注3) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程（2023年6月15日～2024年6月14日）は以下の通りです。

項 目	2023年6月15日～ 2024年6月14日
a. 配当等収益(費用控除後)	12,718,082円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	39,894,550円
c. 信託約款に規定する収益調整金	89,254,459円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	33,083,618円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	174,950,709円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	7,815円
g. 分配金	0円

○お知らせ

日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジありコース

日本金融ハイブリッド証券オープン（年1回決算型）円ヘッジなしコース

- ・信託期間を無期限に変更するため、投資信託約款に所要の変更を致しました（2023年9月14日）。
- ・実態に即した記載とするとともに、新NISA制度の成長投資枠の対象商品に係る法令上の要件を満たすため、投資信託約款に所要の変更（デリバティブ取引等の利用を価格等の変動リスクのヘッジと現物投資の代替に限定）を致しました（2023年9月29日）。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日 2023年12月14日）

<計算期間 2022年12月15日～2023年12月14日>

日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	無期限
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建てのハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等）
主な組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 総 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
7期(2019年12月16日)	円		%		%	百万円
8期(2020年12月14日)	15,720		12.0	98.1		8,216
9期(2021年12月14日)	16,364		4.1	97.3		7,306
10期(2022年12月14日)	17,937		9.6	97.6		4,505
11期(2023年12月14日)	18,614		3.8	96.4		3,604
	20,434		9.8	97.4		6,934

(注1) 基準価額は1万口当たり（以下同じ）。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
				騰 落	率		
	(期 首)		円		%		%
	2022年12月14日		18,614		—		96.4
	12月末		18,122		△ 2.6		94.7
	2023年1月末		18,458		△ 0.8		96.1
	2月末		18,971		1.9		98.0
	3月末		18,326		△ 1.5		96.8
	4月末		19,014		2.1		93.1
	5月末		19,778		6.3		96.6
	6月末		20,472		10.0		94.9
	7月末		19,925		7.0		95.5
	8月末		20,509		10.2		93.5
	9月末		20,630		10.8		96.4
	10月末		20,327		9.2		96.9
	11月末		20,832		11.9		97.8
	(期 末)						
	2023年12月14日		20,434		9.8		97.4

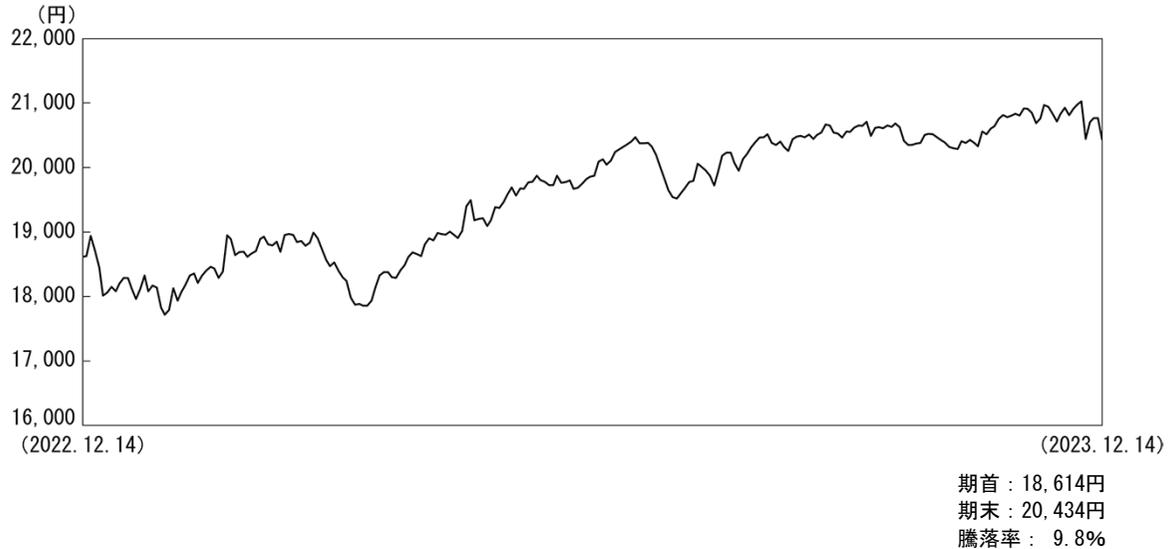
(注1) 騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

○運用経過

(2022年12月15日～2023年12月14日)

■基準価額の推移



■基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は+9.8%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券は、対国債スプレッドが縮小したものの、基準となる米国国債利回りは上昇（価格は下落）したことから、利回りは上昇しました。一方、インカム収入がこれを上回り、所有期間利回りはプラスとなりました。為替が米ドル高円安となったことも加わり、基準価額は上昇しました。

■投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは上昇しました。

FRB（米連邦準備理事会）の金融引き締め姿勢を背景に、2023年10月にかけて利回りは上昇基調で推移しました。その後、11月のFOMC（米連邦公開市場委員会）を受けて利上げ打ち止め観測が強まり、利回りは低下（価格は上昇）に転じましたが、前期末比で見ると、米国債券利回りは上昇しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは上昇しました。

ECB（欧州中央銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2023年10月にかけてドイツ債券利回りは上昇基調で推移しました。その後、期末にかけては、米国金利の低下や、ECBによる利上げ打ち止め観測などを背景に、利回りは低下しましたが、前期末比で見ると、ドイツ債券利回りは上昇しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは上昇しました。

BOE（イングランド銀行）による金融引き締め姿勢などを背景に、2023年10月にかけて英国債券利回りは上昇基調で推移しました。その後、期末にかけては、米欧金利の低下や、英国景気への先行き懸念などから、利回りは低下しましたが、前期末比で見ると、英国債券利回りは上昇しました。

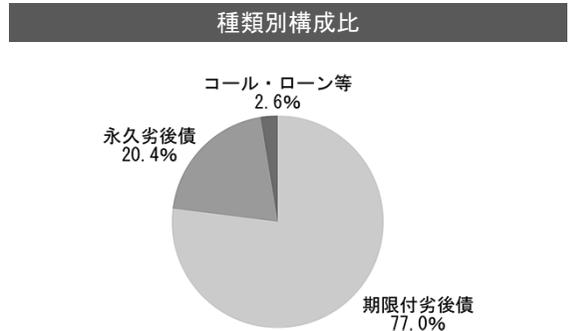
○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券の対国債スプレッドは、2023年2月にかけてはリスク選好の動きなどから縮小しました。3月に米地銀の経営破綻を契機に金融不安が広がったことから、スプレッドは急拡大したものの、当局の対応により収束しました。その後スプレッドは安定的に推移した結果、前期末比で見るとスプレッドは縮小しました。

■当該投資信託のポートフォリオ

決算日時点のポートフォリオは11銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



(注1) 比率は、第11期末における純資産に対する割合。

(注2) 端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

■今後の運用方針

現在のポートフォリオを基本的に維持していく予定です。ただし、市場環境によっては組み入れ銘柄の入れ替えも検討します。

○1万口当たりの費用明細

(2022年12月15日～2023年12月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 3	% 0.018	(a) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用 信託事務の処理にかかるその他の費用等
(保 管 費 用)	(3)	(0.015)	
(そ の 他)	(0)	(0.002)	
合 計	3	0.018	
期中の平均基準価額は19,613円です。			

(注1) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2022年12月15日～2023年12月14日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券 (投資法人債券を含む)	千アメリカ・ドル 23,304	千アメリカ・ドル 1,801

(注1) 金額は受渡代金 (経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 社債券 (投資法人債券を含む) には新株予約権付社債 (転換社債) は含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年12月15日～2023年12月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年12月14日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	55,100	47,395	6,753,365	97.4	—	79.9	8.6	8.9
合 計	55,100	47,395	6,753,365	97.4	—	79.9	8.6	8.9

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末						
	利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円			
普通社債券 (含む投資法人債券)	DAI-ICHI 4.0 260724	4.0	4,400	4,163	593,186	2026/7/24	
	DAI-ICHI 5.1 241028	5.1	1,900	1,878	267,648	2024/10/28	
	MEIJIYASUDA 5.2 251020	5.2	2,500	2,450	349,147	2025/10/20	
	MIZUHO FG 2.564 310913	2.564	9,600	7,678	1,094,151	2031/9/13	
	MSINS 4.95 290306	4.95	4,100	3,886	553,830	2029/3/6	
	NIPPON LIFE 2.75 310121	2.75	9,800	7,917	1,128,134	2031/1/21	
	NIPPON LIFE FRN 310916	2.9	5,800	4,684	667,429	2031/9/16	
	NIPPON LIFE FRN 330913	6.25	1,000	1,031	146,998	2033/9/13	
	SUMITOMO LI 3.375 310415	3.375	8,000	6,674	951,094	2031/4/15	
	SUMITOMO MI 2.142 300923	2.142	6,200	5,065	721,780	2030/9/23	
	SUMITOMO MI 6.184 430713	6.184	1,800	1,964	279,964	2043/7/13	
合 計					6,753,365		

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 繰上償還条項が付与されている銘柄については、繰上償還予定日を償還日に記載しています。

*当ファンドは、当期末において、株式及び新株予約権証券の組入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2023年12月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 6,753,365	% 97.4
コール・ローン等、その他	181,169	2.6
投資信託財産総額	6,934,534	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建資産(6,894,383千円)の投資信託財産総額(6,934,534千円)に対する比率は、99.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、当期末における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=142.49円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年12月14日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	6,934,534,179
コール・ローン等	109,362,770
公社債(評価額)	6,753,365,749
未収利息	70,959,815
前払費用	845,845
(B) 負債	2,752
未払利息	115
その他未払費用	2,637
(C) 純資産総額(A-B)	6,934,531,427
元本	3,393,701,275
次期繰越損益金	3,540,830,152
(D) 受益権総口数	3,393,701,275口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,434円

(注1) 信託財産に係る期首元本額1,936,313,464円、期中追加設定元本額2,018,841,454円、期中一部解約元本額561,453,643円

(注2) 期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託ごとの元本の内訳

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジありコース	1,144,674,376円
日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)	円ヘッジなしコース	1,721,243,362円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジありコース	323,845,521円
日本金融ハイブリッド証券オープン(年1回決算型)	円ヘッジなしコース	203,938,016円

(注3) 期末における1口当たりの純資産総額 2.0434円

○損益の状況 (2022年12月15日～2023年12月14日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	201,482,706
受取利息	201,517,953
その他収益金	16,299
支払利息	△ 51,546
(B) 有価証券売買損益	251,123,354
売買益	295,532,128
売買損	△ 44,408,774
(C) 保管費用等	△ 896,252
(D) 当期損益金(A+B+C)	451,709,808
(E) 前期繰越損益金	1,667,978,155
(F) 追加信託差損益金	1,969,488,546
(G) 解約差損益金	△ 548,346,357
(H) 計(D+E+F+G)	3,540,830,152
次期繰越損益金(H)	3,540,830,152

(注1) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ・実態に即した記載とするとともに、新NISA制度の成長投資枠の対象商品に係る法令上の要件を満たすため、投資信託約款に所要の変更(デリバティブ取引等の利用を価格等の変動リスクのヘッジと現物投資の代替に限定)を致しました(2023年9月29日)。